

令和2年度 東北農業試験研究推進会議 畜産飼料作推進部会
飼料作分科会 開催要領

東北農業試験研究推進会議 畜産飼料作推進部会長
農研機構東北農業研究センター
畜産飼料作研究領域長 下司雅也

1. 趣旨

畜産経営の安定化のために、高品質な自給飼料の安定生産と調製技術が必要である。そのためには、東北地域の気象条件に合う高品質・高収量な牧草品種の選定や、子実用トウモロコシ、飼料用ダイズなどの国産濃厚飼料の生産がますます重要になっている。よって飼料作物の栽培、調製、飼料評価に関わる研究技術の向上を図るために必要な情報交換を行う。

2. 開催日時

令和3年1月27日（水） 13：15～16：00

3. 開催場所

アイーナ（いわて県民情報交流センター） 5階 会議室501号室B
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号、TEL：019-606-1717

4. 議 題

1) 話題提供

(1) 「東北地方における水田輪作物由来穀実サイレージの現地普及に向けた東北農研の取組み（仮）」

農研機構東北農業研究センター 事業化推進室 小野正隆

(2) 「飼料用ダイズの栽培技術（仮）」

農研機構東北農業研究センター 飼料生産グループ 内野 宙

(3) 「飼料用ダイズの飼料調製技術（仮）」

農研機構東北農業研究センター 飼料利用グループ 嶺野英子

(4) 「東北地域における二毛作（仮）」

農研機構東北農業研究センター 飼料生産グループ 久保田明人

(5) 「多年性ライグラスを使った湿害低減技術（仮）」

農研機構東北農業研究センター 飼料生産グループ 藤森雅博

2) その他

5. 参集範囲

国立研究開発法人および公設試験研究機関、東北農政局、県行政・普及部局、東北地域の各大学、その他推進部会長が必要と認める者。最大22名。

6. 新型コロナウイルス感染防止対策

新型コロナウイルス感染防止のため、以下の点についてご承知おきください。

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の状況によっては、開催を中止とする場合や、オンライン会議またはメール会議等に開催方法を変更する場合があります。
- ・参加人数は収容人数の概ね 50%以下を目安としておりますので、出席者の人数を調整する場合があります。
- ・発熱や咳が続いている方、咽頭痛や倦怠感、嗅覚・味覚障害等の新型コロナウイルス感染症の可能性を疑われる症状がある方、政府から入国制限や入国後の行動制限が必要とされている国・地域等より帰国して 14 日を経過していない方は、出席をお控えください。
- ・会場の入口にて検温を実施しますので、ご協力をお願いいたします。
- ・出席する方は各自マスクをご持参いただき、会議室内等での着用をお願いいたします。また、咳エチケットをお守りください。
- ・会場入口に消毒液を用意しますので、入退室時の手指の消毒をお願いいたします。
- ・出席者等に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、感染経路や濃厚接触者の調査のため、保健所等の公的機関に参加者名簿を提示する可能性があることをご承知おきください。

7. 連絡先

畜産飼料作推進部会事務局
農研機構東北農業研究センター 畜産飼料作研究領域 志水 学
Email : xx145130@affrc. go. jp
電話でのお問い合わせ : 019-643-3542

※ 資料提出などの詳細については、別途事務連絡いたします。